



胎児超音波スクリーニング外来

胎児超音波スクリーニングとは、産まれる前に赤ちゃんの重大な病気を発見する検査です。

大きな奇形を持って産まれてくる赤ちゃんは3～5%いて、そのうち90%は特にリスクのないお母さんから産まれてくると言われています。病気のなかには、産まれてからすぐに治療してあげなければいけないものもあり、お腹の中にいるうちに見つかっていれば、心の準備や治療・サポート体制の準備をすることができます。

当院では、他の病院で妊婦健診を受けていらっしゃるお母さんで、この検査を希望される方に外来で検査を行っています。

お受けになるにあたり、下記注意事項をあらかじめ御了承下さい。

<注意事項>

- ・超音波以外の診察・問診は基本的に行いません。
- ・通常の健診の超音波より時間がかかります(約30分程度)。
- ・あくまで大きな異常を見つける検査と理解して下さい。超音波ではわからない小さな異常もあります。
- ・より確実な診断には、本来複数回の検査が必要です。
- ・週数、赤ちゃんの向き、お母さんの体型(肥満)、胎動、羊水量によっては、診断率が悪くなります。
- ・週数が進んでから現れる、あるいは見つけることができる(検査対象の週数ではわからない)異常もあります。
- ・異常が見つかった場合は、後日再検査となります(スクリーニング外来での詳細な説明は致しません)。
- ・私費診療になります。

実施日時: 月～金

午前 9:00～12:00

赤ちゃん1人につき30分

対象週数: 22～30週

※24週頃が最も見やすいとされています

※より確実な診断を希望される方は複数回の受診も可能

費用: 8,000円/回

予約専用電話: 0279-52-4000(代)

※平日9:00～17:00にお電話下さい

